

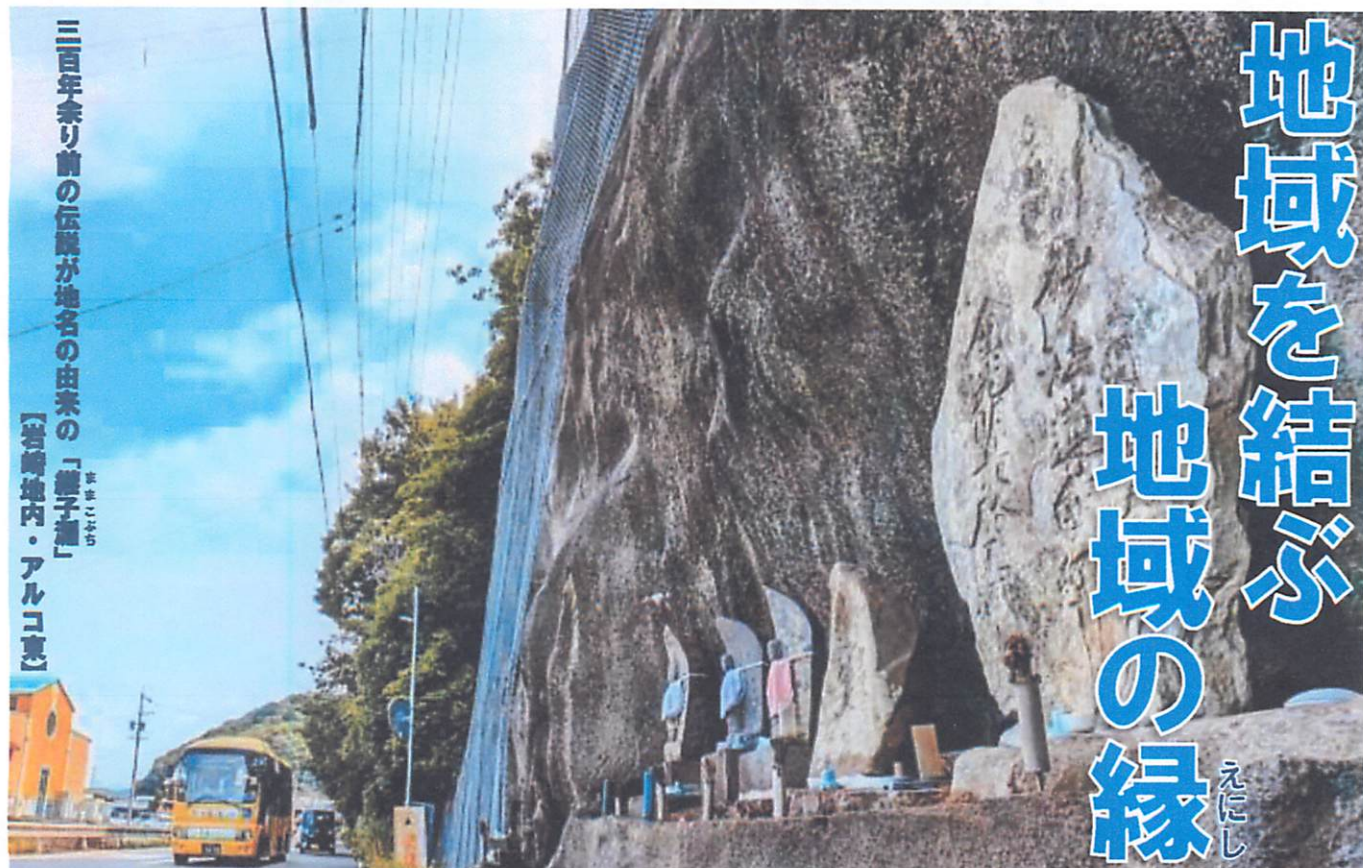


岩野田・岩野田北

コミバス通信

第16号

【編集・発行】岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会(会長:服部康夫)【発行日】令和7年9月1日



地域を結ぶ

地域の縁

えにし

三百年余り前の伝説が地名の由来の「継子淵」

【岩崎地区内・アル「東」】

鳥羽川の激流が山肌を削り深い淵をたたえた「継子淵」は、半世紀ほど前までウナギやナマズが生息し、子どもたちはヨシをかき分けてフナ釣りをしたそうです。崩落防止工事前には、岩肌に張り付いた二つの丸い岩が見られ、これを「継子餅」と呼びました。不憫な扱いを受け、深い淵に身を投げた異母兄弟が投げつけた餅です。悲しみ悔やんだ母親は、地藏様を祀(まつ)りました。旅人が安全を祈願した石仏群は、今も地域を見守ります。

皆さんのおかげで運行6年目

ご協力・ご支援ありがとうございます

地区収入の50%以上を占める車両広告にご協賛いただいている皆さんと、ルートに欠かせない敷地内運行にご協力をいただいている皆さんのご支援により、運行を継続することができました。

●**広告ご協賛**(順不同・敬称略) 三田洞歯科医院、原尾エステート、神谷新聞店、みんなの整形外科クリニック、岩砂病院・岩砂マタニティ、岐北厚生病院、増田医院、かとう整形外科クリニック、ふじさわクリニック、平成調剤薬局、カワサキ保険センター、(株)米金商店、中島建築、萩建設(株)、勝栄工業(株)の皆さん

●**敷地内の運行**(順不同・敬称略) パロー栗野店、JA ぎふ岩野田支店、ほっともっと岐阜岩崎店の皆さん

お願い 広告協賛いただける

事業者の皆さんを募ります

車両広告料のおかげで、「ぐるっとバス」の運行を続けることができました。引き続き、そして新たなご支援をお願い申し上げます。

【広告募集要領】

- ・車両外18カ所、車両内3カ所。
- ・車外広告料は、位置により、5,000円/月、6,000円/月、7,000円/月、10,000円/月、15,000円/月で、車内広告は5,000円/月。
- ・デザインは協賛いただく方と車両運行事業者で打ち合わせ。
- ・契約期間は、1年単位。

【お問い合わせ】 運営協議会又は
岐阜市交通政策課 ☎214-2017

※コミバス通信は、企画から編集まで地域の皆さんが役割分担し、手づくりで発行しています。

地域の絆で運行・・・運営協議会総会を開催しました

運行開始から6年目となる“ぐるっとバス”。その運営は、自治会などから選出された地域の皆さん42人と岐阜市及び運行事業者による「岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会」が担っています。

6月26日、令和7年度総会を開催し、昨年度事業報告及び今年度事業計画など4議案が承認されました。

●昨年度と最近の利用状況

1年間の利用者数は13,816人で、前年度より605人減少しましたが、今年5月には1,334人が乗車し、月間利用者数としては過去2番目となりました。今年度からは祝休日運行を開始、4～6月は月平均1,274人で、年間利用者数の15,000人超えが期待されます。



▲運営協議会総会(6月26日・岩野田北公民館)

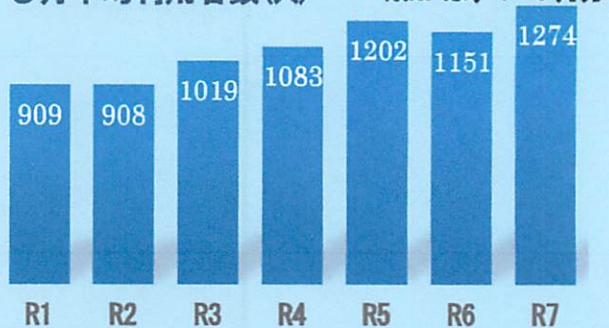
●昨年度の収支状況

運行経費の12,196,716円に対し、収入は2,382,214円(うち広告料1,302,064円)で、市による実質の赤字補填額は、9,814,502円となりました。

●今年度の運行

燃料費の高騰などを受け、昨年度322円の運行単価が367円に上昇。年間運行経費は約1,460万円と試算され、昨年度より約240万円増となります。地域の皆さんのご利用・ご協力のもと、年間利用者数の増加及び広告協賛事業者を募ります。

●月平均利用者数(人) ※R7は、4～6月分



“ぐるっとバス”を利用しています

今園 とみ子さん(三田洞東)

♥コミバス通信は、毎回楽しく読んでいます。
♥“ぐるっとバス”には、毎週1回、長良整形外科通院に利用しています。サンマートで乗り継いで、マーサやピアゴにも行きますが、帰りは“ぐるっとバス”への乗り継ぎが悪いので、サンマートまで「さんさんバス」を利用し、下岩崎で岐阜バスを利用しています。♥生協の宅配を利用していますので、パローでの買い物は2週間に1回程度です。♥こんな具合に、通院・買い物などに、ひんぱんに利用しています。♥祝休日に運行されるようになり、5月の連休には3日に利用しました。友人と、日曜日運行もそうですが、便が増えればと話しています。



私の乗車体験記

免許返上後の通院を予習♥

♥MFさん(栗野東)

♥通常、岐阜日赤病院へは自家用車で通院していますが、いつ免許返上となってもおかしくない年齢です。で、コミバスを使ってみました。
♥トミダヤで“ぐるっとバス”第1便(9:06)に乗り、「さんさんバス」に乗り継ぐ方法だと、1時間20分ほど待ち時間が生じてしまう。そこで、今回は“ぐるっとバス”を諦め、「さんさんバス」をメインに練り直し。♥路線バスで栗野口から長良高見まで行き、「さんさんバス」第1便(8:23)に乗り継げば、長良高見からわずか15分足らずで日赤病院に到着(玄関前がバス停!)。♥帰りも「さんさんバス」第4便(11:19)に乗り、長良高見から岐阜バスを利用。♥遠出する際は、路線バスと他の地区のコミバスの組み合わせもありですね。



地域が主役 みんなが主役

編 集 余 記

♥この4月から祝日・休日運行が開始し、特に連休中の利用者の皆さんから喜びの声が寄せられました。次の目標は日曜日運行です。♥月2回(例えば第1と第3日曜日)の隔週の日曜日運行なら、年間運行日数は334日となり、月1,250人(年間15,000人)があれば、実広告収入は年間約130万円確保で足ります。R7年6月現在、今年度収入の予定は年間約120万円ですので、継続及び新たにご協力いただける事業者さんがあれば、実現可能と試算されます。♥もちろん、乗車賃の収入増へ、日曜日運行による客層が広がることを期待しています。♥今園さんが体験記でご希望の1日当たりの便数増は、利便性向上につながります。ルートを1周する時間や利用数が少ない午後の便の取り扱いなども踏まえ、今後の検討課題の一つとしていきたいと思います。

県大会で72年ぶりの快挙



▲「岐阜市北消防団特別点検」(6月8日)に、県大会で優勝した小型ポンプ操法を披露

●北消防団岩野田分団

火災や自然災害への対応をはじめ、防火活動・訓練などに取り組んでいる消防団は、地域の20代から50代までの幅広い世代の団員が活躍しています。

昨年、第73回岐阜県消防操法大会に、市の代表として出場を果たすとともに、第1回以来、岐阜市が72年ぶりの優勝を果たすことができました。あなたも一緒に活動しませんか？



▲「岐阜市消防出初式」(1月13日)で、市長特別表彰、市消防協会長表彰を受ける皆さん

地域を守る、みんなで守る

市の水防団誕生時から活動



▲子どもたちに土のうづくりを教える…防災啓発も大事な活動の一つ

●岩野田水防団

地域の皆さんの安心・安全のために、平常時は、水防工法の訓練、水防資材の補充や点検などのほか、地域の防災訓練などで住民に水防に関する啓発活動を行っています。

出水時は、出動要請に基づき、水防団詰所を拠点に河川・堤防の巡視を行い、被害状況によっては水防工法で堤防の補強をします。

あなたも一緒に活動しませんか?!



水防団提供写真

▲6月の「北部16団合同水防訓練」(15日)、「水防連合演習」(22日)でシート張工を披露

地域や家族を守る活動・・・あなたも参加しませんか

消防団、水防団員は、普段はそれぞれ別々の仕事をしながら、活動をしています。新規団員を募集しています。対象は、地区に居住又は勤務する18歳以上で身心ともに健全な人(性別は問いません)です。

団員は非常勤特別職の公務員となり、活動に対する報酬や活動期間によって退職報償金が支給されます。

【お問い合わせ】 ●各自治会連合会(公民館内) 岩野田公民館 ☎ 237-2619 岩野田北公民館 ☎ 237-2934

●岐阜市消防総務課 ☎ 262-7161 ●岐阜市水防対策課 ☎ 214-4854

家庭の備え・地域の絆づくり

いつ見舞われるか分からない地震や水害・・・停電や断水に加え、3日間は支援が期待できません。日ごろから、災害時を想定し備えましょう。非常食の備蓄(ローリングストック)や非常持ち出し袋の確認、防災訓練への参加など、家庭や地域での備えが欠かせません。



▲岩野田防災訓練で仮設トイレ用マンホールを確認 (令和5年9月3日)



▲岩野田北防災訓練で、避難所開設を体験 (令和6年10月10日)

地域の昔話 ②

地域には、伝説がいくつかあります。今回は雨乞い
にまつわる三田洞弘法のお話です。次号は最終回…
済法寺にまつわる「観音様の山下り」を予定、お楽し
みに。(文) 武山 武司 (絵) 小森 康正

お竜(たつ)さま

むかし ある年のこと
まいにち まいにち
日照りがつづいた。
たんぼは 干上がり
畑の 作物は枯れてしま
う。

「これでは 作物は
ぜんめつで
もう 食べるものもない」
村人たちは
たいそう 困っておった。
そこで だれ言うもなく
「雨乞い」をしよう
ということになったんや。
百ヶ峯の 頂上まで
お神酒と たき木を みんな
でおいねて※ はこんだ
そして どんどん
火をたいて 雨乞い歌を
うたい 踊りながら



火のまわりを まわる
こうして 三日三晩
村じゅうみんな
踊り続けたそうだと
すると 三日目のゆうがた
急に あたりが
真っ暗になった。
稲妻が
ピカッ ピカッと 光り
大地をゆるがすような
大きな 雷が なりだした。
そして大粒の雨が
ふりはじめた。
「雨だ 雨だ」と 村人たち
は 大声をあげて 喜んだ。
その時 人々は
弘法様の にわの池から
黄金色の 大きな竜が
稲妻に乗って
天に昇っていくのを見た。
金のたてがみを なびかせ
大きな 白いきばを
むきだした竜。

※おいねる＝背負う



▲岩野田の雨乞い踊り(出典:岩野田郷土誌)



▲炎天下でも睡蓮が満開

けれども それは とても
美しかった ということじゃ。
人々は それを
「お竜さま」とよんで
お社を作って おまつりした。
弘法様のまへの
池の中にある お社は
その時に
祀ったものやそうじゃ。
おしまい



●三田洞弘法へは「ぐるっとバス」「三田洞神仏温泉」下車、徒歩2分

私たちが「ぐるっと」運転しています



「ぐるっとバス」を、ローテーションで運転していただいているのは、(株)日本
タクシーの皆さん(7月15日現在)。日ごろ、注意していることや利用者の皆さんへ
お伝えしたいことを伺いました。

●気を付けていること 「常に安全第一で、乗客の方に安心して乗車・利用して
いただけるよう心がけています。」

●皆さんにお伝えしたいこと 「バスが停車するまでは、座席を立たないよう、
また、走行中の座席の移動も危険です。安全・快適にご利用いただくため、よろ
しくお願いします。」

コメントをありがとうございます。これからも運転、よろしくお願いします。

